

近代化の足音が響く

躍進へのカギを握る 都市基盤の整備

日本の産業経済が急成長した昭和40年代。東金市では新たな時代の到来を見据え、都市基盤の整備が積極的に進められました。地域発展の土台となる道路・

きました。こうして九十九里地域の中核都市として、さらなる躍進への準備が整えられました。

交通網の整備をはじめ、工業団地への企業誘致、土地改良など、近代化への歩みが加速しました。また、九十九里地域水道企業団の事業開始、山武郡市広域消防の発足と、広域行政が充実していったのもこの時期です。



自転車で渡れる県下初の横断歩道橋(1973)
The first combination bicycle/pedestrian bridge in Chiba

交通量の多い都市に 安全な通学路を

東金市が最も力を入れてきたことの一つに学校教育があげられます。昭和40年代、小学校は12校から8校に、中学校は3校から1校に統合されました。教育施設と教育内容の両面で充実が図られるなか、重要な課題とされたのが通学路の整備です。

その背景には、都市化が進むにつれて車の交通量が増え、市民生活と交通事故対策が切り離せない問題となったことがあります。当時の広報とうがねでも、毎月のように交通安全を呼びかけていました。とくに、子どもたちが安全に学校へ通えるよう、さまざまな取り組みに力が注がれています。各小学校では、新入学児童への交通指導を徹底す

るとともに、全児童に交通ルールを教える移動交通安全教室を実施。丘山小学校の校庭には、交通模擬道路がつくられています。ほかにも、小中高校生を対象とした「東金署管内交通安全音楽コンクール」なども行われていました。

交通指導と同時に、通学路となる市道の舗装や補修を進めたり、台方と谷地区を結ぶ谷トンネルを整備しました。さらに、丘山小学校前などに横断歩道橋が完成しました。また、統合により生徒数1500名となる東金中学校では、学校の前に、自転車を押して渡ることができる横断歩道橋がつくられました。こうして、都市に暮らす子どもたちの安全が守られました。



市制施行10周年・市庁舎落成記念式典(1965)
Ceremony commemorating the 10th anniversary of the Togane municipal government and the completion of Togane's new City Hall

11月6日、新庁舎前広場に特設された式場には680名あまりの参加者が集まりました。式典を記念して青空にいつせいに放される5色の風船。このあと10日までの5日間は文化展覧会や自動車ショー、NHKの公開放送など盛りだくさんの記念行事が行われ、祝賀ムード一色となりました。



新型救急車『市民号』を配備(1968)
"Shimingo" a new type of ambulance, is put into service
市内の各種団体や市民からの寄付で購入され、「市民号」と命名されました。1月31日から消防署救急隊が使用を開始しました。

昭和49年
1974年
昭和40年



悪夢の一夜、台風34号の被害(1967)
Damage from the nightmarish night when Typhoon 34 struck

10月28日未明、山武地域南部を襲った台風34号によって丘山小学校が倒壊。市民にかつてない恐怖と深刻な被害をもたらしましたが、自衛隊員による復旧作業など、迅速な復旧につとめました。



自転車の安全な乗り方で東金小が関東一に(1969-1970)
Togane Elementary School wins the Bicycle Safety Competition for the Kanto area

交通安全教育の一環として、全国規模で開催される「自転車の安全な乗り方コンクール」。その関東大会で、県代表の東金小チームが2年連続で優勝旗を手にしました。

6月	3月	2月	1969年【昭和44年】	12月	10月	7月	4月	3月	1968年【昭和43年】	12月	10月	8月	4月	1967年【昭和42年】	12月	5月	4月	2月	1月	1966年【昭和41年】	11月	10月	9月	6月	3月	1965年【昭和40年】
城西児童遊園開設	大和小学校、東金小学校に編入	小沼田工業団地連絡協議会設立	3億円事件	川端康成氏ノーベル文学賞受賞	小笠原返還	結婚相談所開設	多田屋前に横断歩道橋完成	油井に市営住宅完成	東南アジア諸国連合(ASEAN)設立	東金市外二町清掃組合設立	東金市消防署開設	第一・二・三中学校のプール完成、古橋広之進(元オリンピック選手)を招き祝賀会を実施	東金市中小企業資金融資条例制定	東金市消防署開設	東金市消防署開設	東金市消防署開設	東金市消防署開設	東金市消防署開設	東金市消防署開設	東金市消防署開設	東金市消防署開設	東金市消防署開設	東金市消防署開設	東金市消防署開設	東金市消防署開設	東金市消防署開設



A black and white photograph of a television studio set. Two men are standing on the left, looking at a large piece of equipment. The background features a checkered wall and two ladders.

社会の動き	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
社会の動き	山武郡市広域消防発足 市史編さん事業開始 東金市東金農協に加盟の正気、豊成、福岡地区「山武農協」に加盟 県立東金養護学校開校 松之郷久我台に、県立東金商業高等学校移転 新宿・山口に児童遊園開設 統合した東金中学校校舎完成 城西、東、正気小がそれぞれ旧一・二・三中へ移転 東金線電化完成 第28回国民体育大会のソフトボール会場 天皇皇后両陛下運動公園にお立寄り 老人福祉センターオープン 円、変動相場制移行 第一次石油ショック 江崎玲央奈氏ノーベル物理学賞受賞								
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
	東金駅東口土地区画整理組合設立 城西幼稚園と公平幼稚園開園 山武郡市広域水道企業団設立 東金青年の森公園に、テニスコート、バレーボールコート、相撲場完成 東金商工会館完成 東金市土地開発公社設立 東金中学校屋内体育館完成 米ウォーターゲート事件 佐藤栄作氏ノーベル平和賞受賞								

6月	東金市植木センター開場式
7月	県立東金病院業務開始
10月	市天然記念物指定に日吉神社表参道杉並木市史跡指定に丸山遺跡
11月	東名高速道路全線開通
社会の動き	米アボロ11号人類初の月面着陸成功
1970年〔昭和45年〕	
5月	運動公園整地作業（自衛隊の協力開始）
6月	農村集団自動電話開通（有線放送電話業務廃止）
7月	武射田児童遊園開設
10月	新千葉カントリー倶楽部オープン
11月	第11回国勢調査、人口3万2065人、世帯数7411
社会の動き	市帯市の木「フカンマキ」指定
12月	福俵児童遊園開設
1971年〔昭和46年〕	
1月	東金小学校が全日本交通安全協会から交通安全優良校として表彰
3月	「東金市基本構想」策定
4月	「東金市総合計画（基本計画）」策定
6月	県立東金病院に血液センター出張所開設
10月	東金保健所庁舎現在地に移転
社会の動き	母子保健推進員制度発足
12月	東金青年会議所創立
1972年〔昭和47年〕	
1月	東金文化団体協議会結成
3月	九十九里地域水道企業団設立
4月	マクドナルド銀座1号店
6月	円、初の切り上げ
社会の動き	ポウリングブーム
1973年〔昭和48年〕	
3月	薄島・北之幸谷に児童遊園開設
4月	正気幼稚園と城西幼稚園開園
7月	松之郷に県立東金青年の家開設
8月	山武郡市振興センター完成
9月	東金青年の森公園野球場オープン
10月	第7代市長に石橋一弥再任
11月	名誉市民に能勢剛氏
社会の動き	東金駅で東金線電化のクワ入式
12月	札幌冬季オリンピック開催
1974年〔昭和49年〕	
3月	連合赤軍あさま山荘事件
4月	沖縄返還
5月	田中首相訪中、日中国交回復
6月	福俵に市営住宅完成